

『真理＝神理』の十教訓

一、総てにおいて『神』優先

『神』は気に入った者は繁栄させて、気に入らない者は破滅にするのが原則なのです。私達は、『神』のお力によって、生かされているのですから、何があっても『神』を第一にしましょう。

二、好き嫌い・善悪の判断をしない

『神』は、私達の持つ悪いカルマを消して、本当の幸せへと導いて下さっているのです。人間の浅知恵で、目先だけで判断しないようにしましょう。

三、あるがまま、なすがままに生きよう

人間界に起こる一見して不幸に見えることは、『神』が、私達を本当の幸せにするために、私達のカルマを消すプログラムを発動して下さっているのです。何があっても、素直に受け入れましょう。

四、強すぎる正義感は罪の元

『神』は、その人の持つ悪いカルマを消すために必要だから、可哀想な状況を経験させているのです。人間社会の正義感では、その人を本当に救うことは出来ないばかりか、自分にその人の悪いカルマを付け替えられます。『真理』に基づいて行動をしましょう。

五、強すぎる母性愛も罪の元

子供や弱い立場の人をかばったり、甘やかす事は、〈愛〉ではありません。『神』のお仕組み（プログラム）に沿って、必要な経験をさせる事で、逞しく成長していただけるのです。

六、我と慢心に向上なし

貴方の力だけで成功したものではありません。『神』や守護霊といった方々のお仕組み・ご守護により、うまくいったのです。勘違いしてはいけません。

七、プライドを捨てよ

大事な事は、簡単なのです。プライドと我が邪魔をして、いるから、難しく感じるのです。謙虚で素直な気持ちで、忘れないようにしましょう。

八、総ての事に感謝しよう

『神』が今の貴方に最適な状況・環境を準備して下さいです。「たったこれだけ」ではなく、「こんなにして戴いて」と心の底から感謝をすることで、『神』も「もっと何かしてやろう」と思われるのです。

九、「何でも許す」心を持つ

憎まれた子も『神』に使って戴いているのです。今の貴方に必要だから、その方がそこにいらっしやるのです。清く高き魂ならば、どのようにするのか、考えましょう。

十、『真理』を説いてまわろう

地上を天国にするお手伝いをするのです。せっかく知り得た幸せへの道です。沢山の方々に、『真理＝神理』を、説いてまわります。

以上を日々の指針として、
周囲の規範となるべく、努力しましょう。

平成二〇年 四月二十四日 『真理＝神理』の研究会